

# 「仕組み」に関する取組 『北海道流』物流マッチングモデル「ロジスク」

国土交通省 北海道開発局  
開発監理部開発調整課

令和6年2月19日

## 目次

1. 「ロジスク」発足の経緯
2. 「ロジスク」の概要
3. 「ロジスク」活動の流れ
4. 「ロジスク」ワークショップの開催状況
5. 「ロジスク」ワークショップの開催結果（事後アンケート調査結果）
6. 「ロジスク」ワークショップ後の動向

# 1. 「ロジスク」発足の経緯

2019年4月

働き方改革関連法が施行→2024年4月から、トラックドライバーの労働時間が制限されることに

2023年3月

道内の物流事業者や学識者、行政等による「**共同輸送・中継輸送実装研究会**」が発足

2023年7月

研究会において、共同輸送・中継輸送の実現に向けた、ワークショップによる物流事業者間のマッチング活動「**ロジスク**」を提案

# 中継輸送・共同輸送実現に向けた課題

## 課題① 「場所」の問題

の解決に向けて

「道の駅」・「除雪ステーション」等  
を活用した小ロット貨物の効率化

- トラック運行状況、積載物の状況、積載率からトラックの空きスペースを利用した混載輸送の可能性を確認し、『道の駅トラック時刻表』を作成

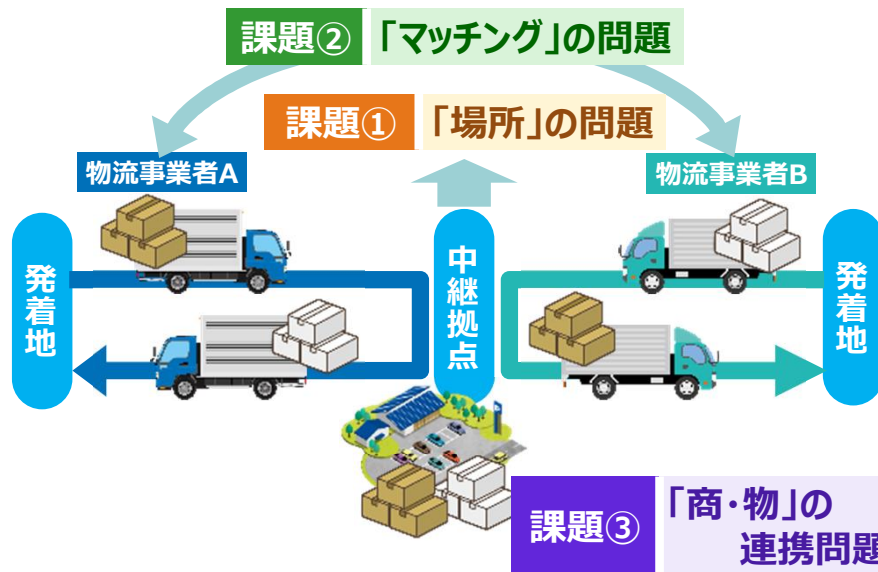


## 中継輸送のあり方について 実証実験を実施

- 「道の駅」において、様々な中継方式（ヘッド交換・ドライバー交換等）/輸送経路で中継輸送の実証実験を実施し、効果を確認



## 共同輸送・中継輸送の仕組みと解決すべき課題



## 課題③ 「商・物」の連携問題

の解決に向けて

- 「北海道フィジカルインターネット懇談会」（経済産業省）や「北海道物流研究会」（北海道イオン等の民間事業者）と連携を図っていく。



フィジカルインターネットの実現に向け北海道を舞台に各種調査を実施

小売各社が抱える物流面での共通課題を、競合の壁を超えて検討



## 課題② 「マッチング」の問題 の解決に向けて

### 「共同輸送・中継輸送実装研究会」設立

- 持続可能なシステムとするために、より多くの民間事業者の参画を求めながら、マッチングの仕組みづくりを行うため、 検討・実証を行う

### 「ロジスク」誕生

- 物流課題や、共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が少人数のワークショップで話し合える場を提供



ワークショップによる 北海道産物流マッチングモデル

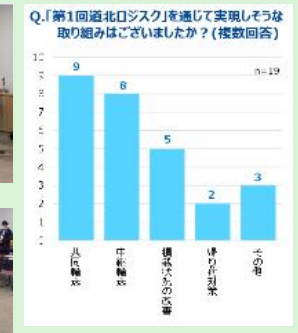
**ロジスク**

がスタートします！

「2024年閉会」にお返りはないですか？

「ロジスク」が他社様とのマッチングをお手伝いします

早く早く、ロジスク



# 解決のために：マッチング方法の検討

共同輸送・中継輸送実装研究会（第1回） 資料3より

## マッチングの場としての研究会の活用

- 物流事業者が話し合う場としての研究会の課題

道内物流における課題は多岐にわたり、  
物流事業者のニーズ・課題解決の  
優先順位もそれぞれ異なる

ひとつのテーブルで議論する方式  
では個々の課題解決は難しい



解決策として...

ワークショップ形式にすることで、研究会を、物流事業者同士が同じテーマで本音で語り合える場とする

## ■ ワークショップのメリット

活発な議論が期待できる

個々の課題やアイデアを話し合いやすい

当事者意識・達成感が得られやすい



参加者を3~4人の  
グループに分けて  
話し合う



## 2. 「ロジスク」の概要

### 【「ロジスク」の言葉の意味】

- 「ロジ」スティック+「スク」ラム
- 北海道の「ロジ」スティックが「スク」スク育つ 等

### 【「ロジスク」の仕組み】


- 共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が**少人数のワークショップ**で話し合える場を提供
- 従来の車両マッチングアプリ等とは異なり、マッチング成立=共同輸送・中継輸送の実現まで、行政を含む**研究会がサポート**することで、継続性・信頼性の高い協力体制づくりを目指す

ワークショップによる「北海道流」物流マッチングモデル

# ロジスク

がスタートします！

共同輸送・中継輸送実装研究会  
北海道開発局



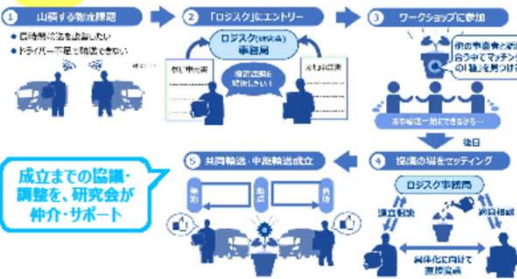
「2024年問題」にお困りではないですか？

- 2024年4月から、トラックドライバーの労働時間が制限されることを受けて、2023年7月、道内の物流事業者や学識者、行政等による「共同輸送・中継輸送実装研究会」が発足しました。
- 研究会では、共同輸送・中継輸送の実現に向けて、ワークショップによる物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」(ロジスティクス+スクラム) をスタートさせました。

「ロジスク」が他社様とのマッチングをお手伝いします

- 「ロジスク」は、物流課題や、共同輸送・中継輸送したい品目・ルート等について、物流事業者同士が**少人数のワークショップ**で話し合える場を提供します。
- 従来の車両マッチングアプリ等とは異なり、マッチング成立→共同輸送・中継輸送の実現まで、行政を含む**研究会がサポート**することで、継続性・信頼性の高い協力体制づくりを目指します。

「ロジスク」の参加イメージ



「ロジスク」にご参加ください！

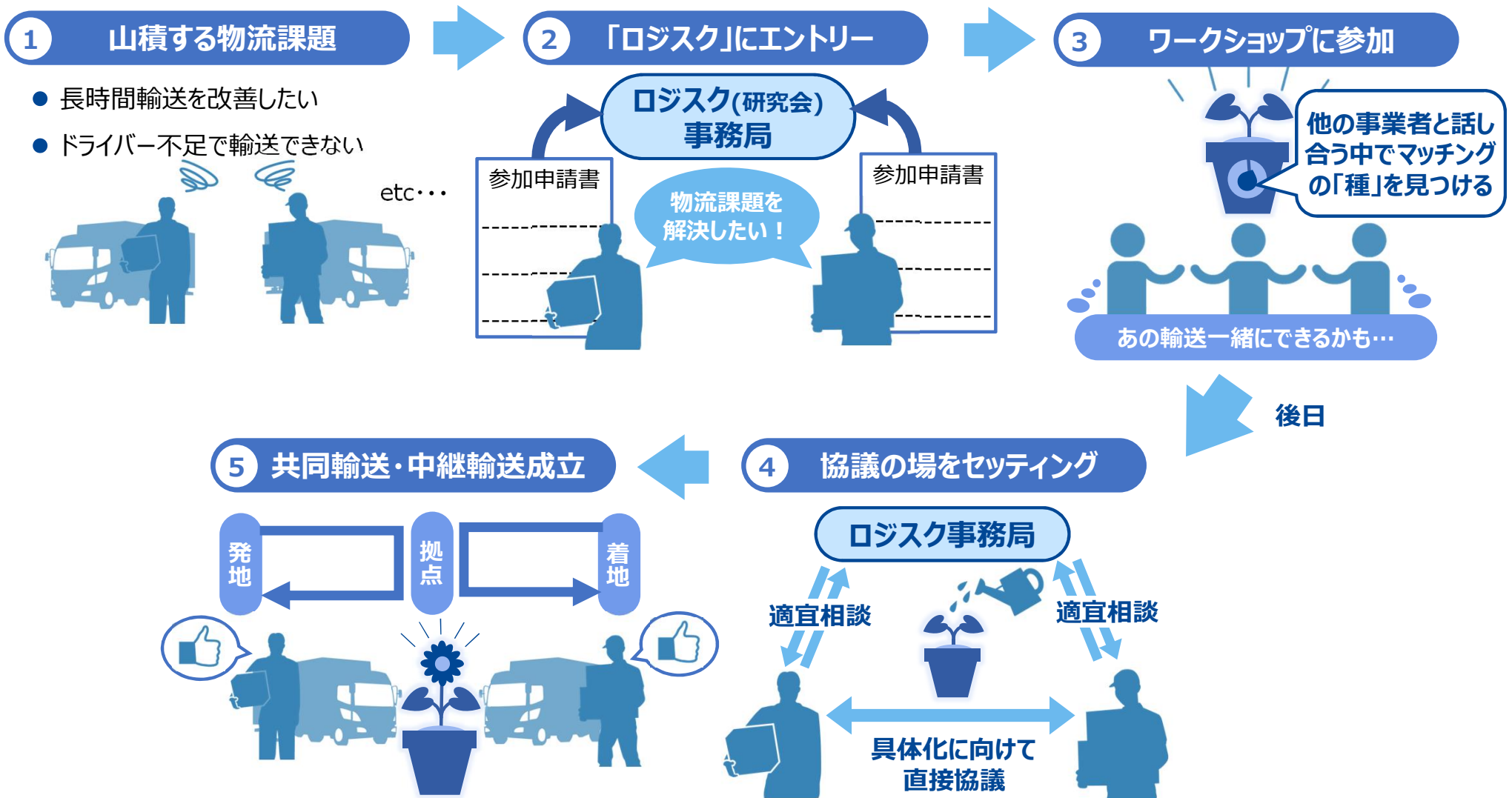
- ロジスクは多くの事業者の皆様への参加をお待ちしています。
- お問い合わせ、参加ご希望は、下記までご連絡ください。

北海道開発局 開発管理部 開発調整課  
TEL : 011-709-2311 (内線5477)  
E-mail : hkd-ky-seisankuukan@gbx.mlit.go.jp

すくすく、ロジスク



# 3. 「ロジスク」活動の流れ



## 4. 「ロジスク」ワークショップの開催状況

### 【 第1回 道北ロジスク 】

**日時** 令和5年10月6日(金) 10:00~12:00

**場所** 旭川市内

**出席者** 道北方面の物流に課題を抱える  
物流事業者や荷主企業  
(25の企業・団体等から55名)

**内容** 2つのテーマでワークショップ  
(1) 道北地域の物流維持に向けた  
事業者間のマッチング  
(2) 中継拠点に求められる  
機能等の検討

### 【 第1回 道央ロジスク 】

**日時** 令和5年12月4日(月) 14:00~17:00

**場所** 札幌市内

**出席者** 道央方面等の物流に課題を抱える  
物流事業者や荷主企業  
(27の企業・団体等から62名)

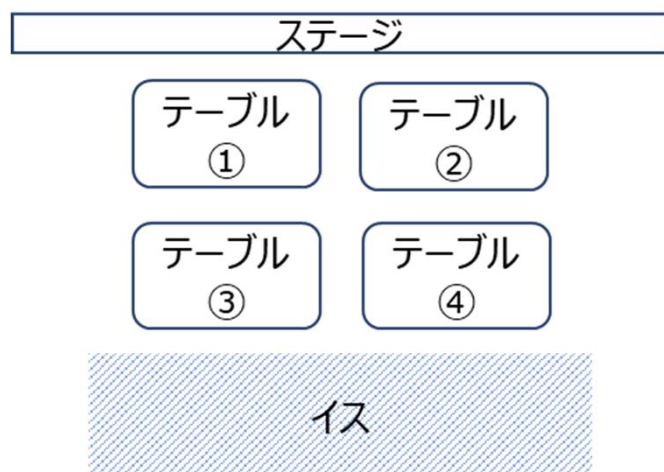
**内容** 2つのワークショップ  
(1) マッチング先を見つける  
テーブル  
(2) 特定の相手との商談を進める  
テーブル



# 4. 「ロジスク」ワークショップの開催状況

【 第1回 道北ロジスク 】

令和5年10月6日 10:00~12:00



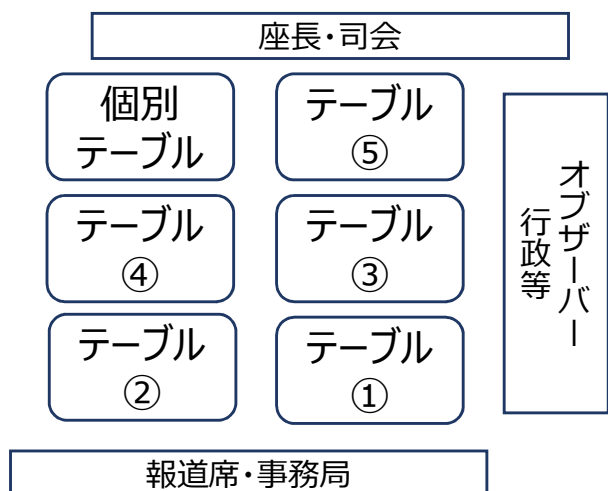
- 1つのテーブルに3,4社が着席して事業者間のマッチング
- ワークショップを3回実施し、その都度、席替え
- ワークショップ後に、フリートーク時間（交流促進）



# 4. 「ロジスク」ワークショップの開催状況

## 【第1回 道央ロジスク】

令和5年12月4日 14:00~17:00



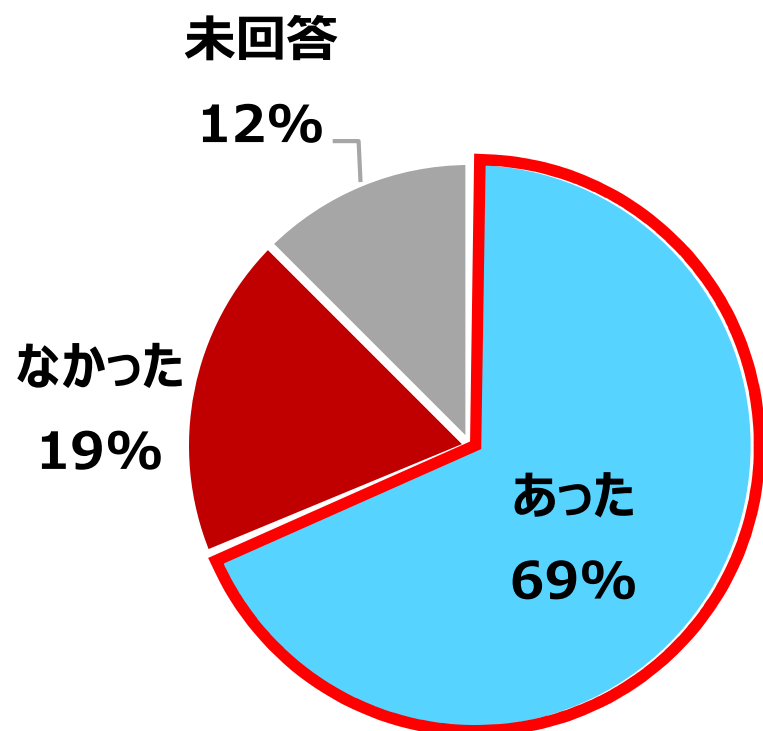
- 1つのテーブルに3,4社が着席して事業者間のマッチング（個別テーブルでは商談）
- ワークショップを4回実施し、その都度、席替え
- ワークショップ後に、フリートーク時間（交流促進）



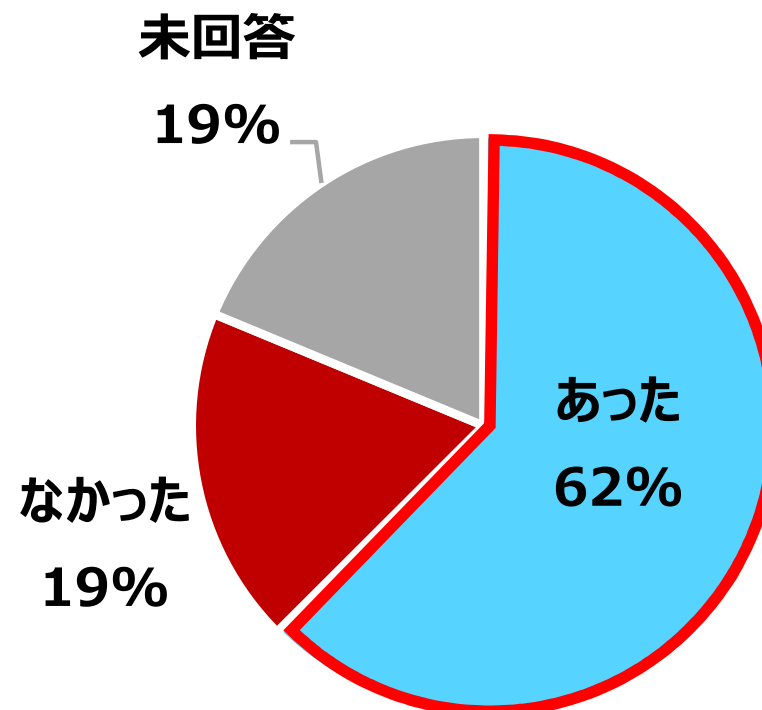
## 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

### 【道北ロジスクの成果について】

マッチングできそうな企業は？



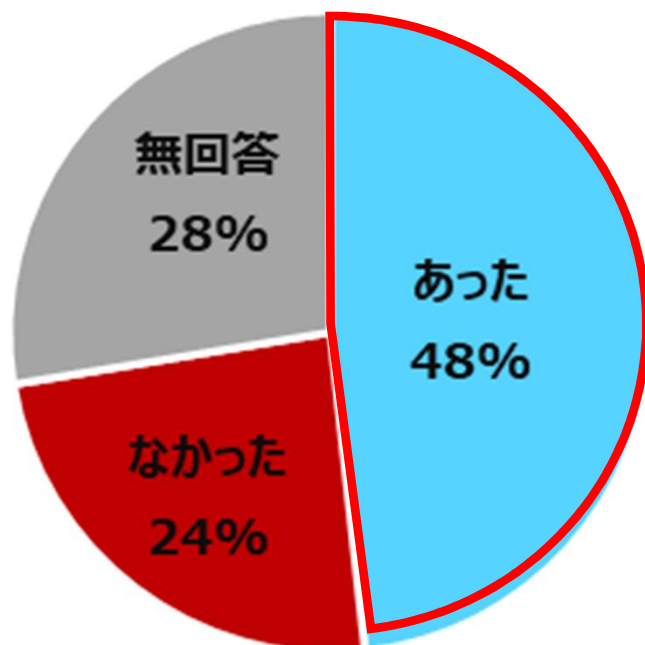
もう少し話したいと思った企業は？



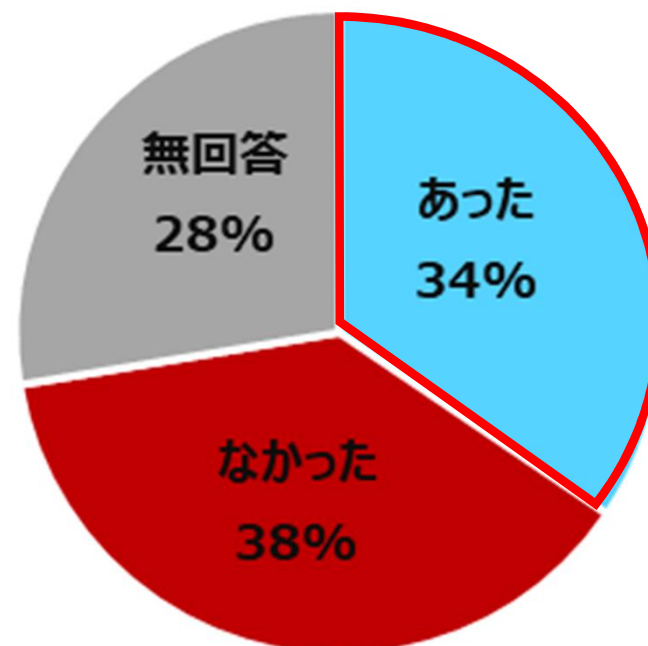
## 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

### 【道央ロジスクの成果について】

共同輸送・中継輸送実現の  
可能性が感じられる企業は？



もう少し話したいと思った企業は？

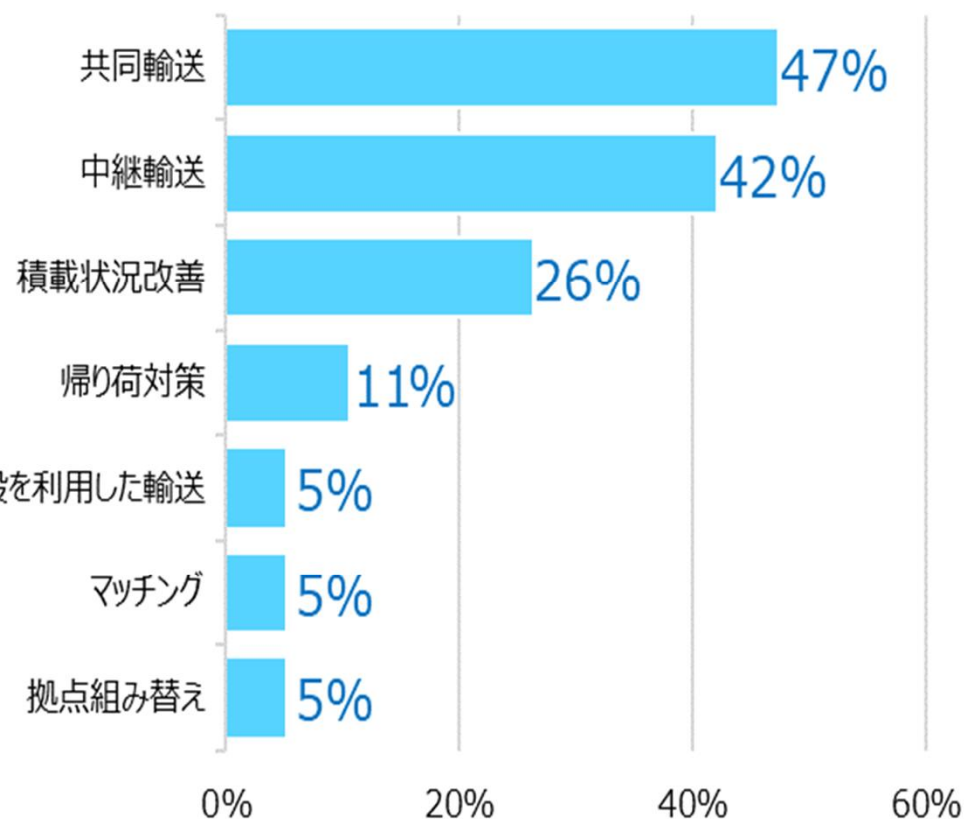




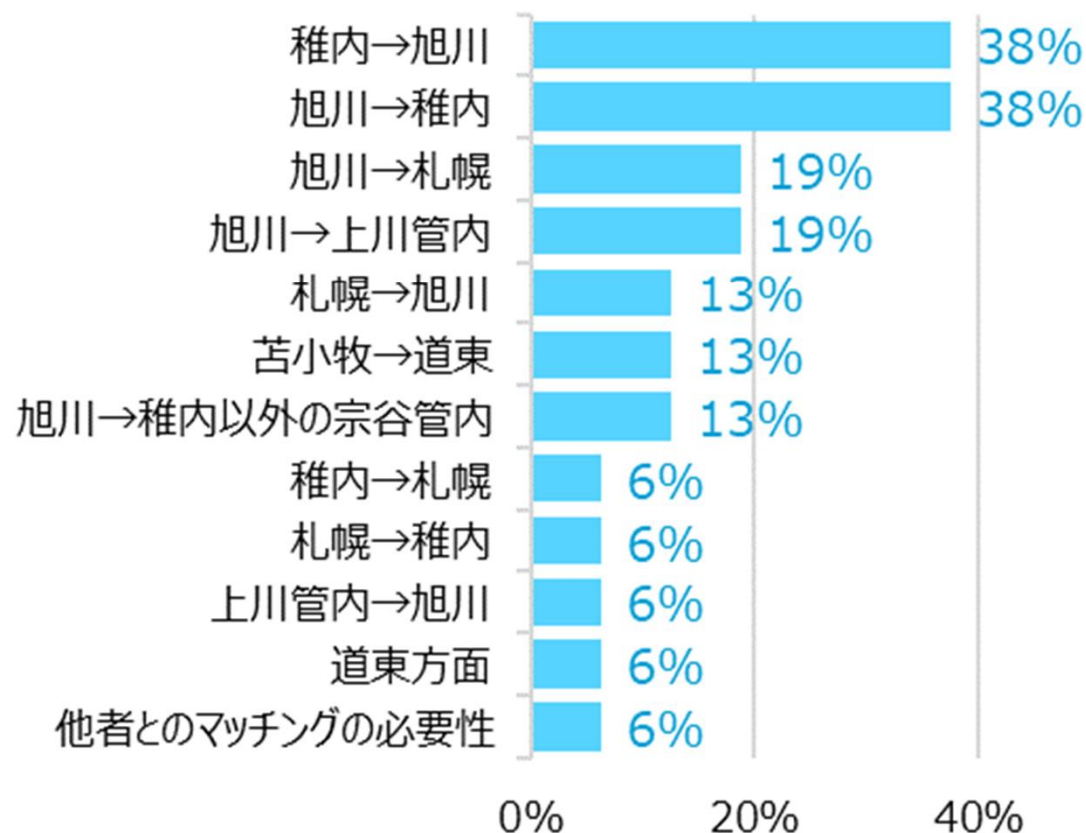
# 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

## 【道北ロジスクの成果について】

### ロジスクを通じて実現しそうな取組みは？



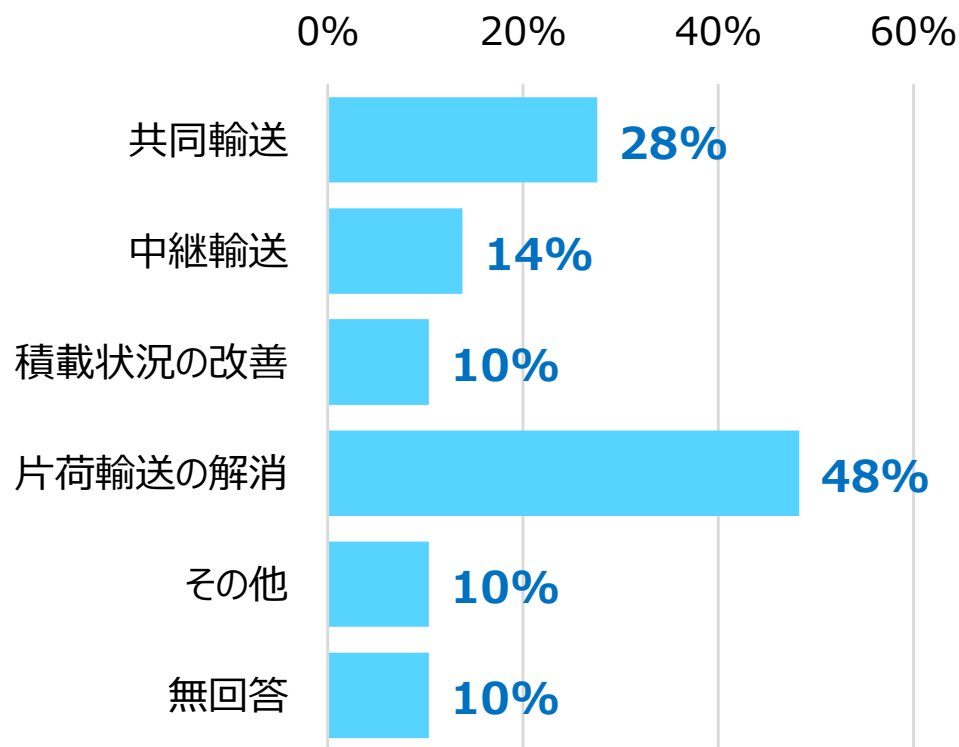
### ロジスクで話した輸送エリアは？



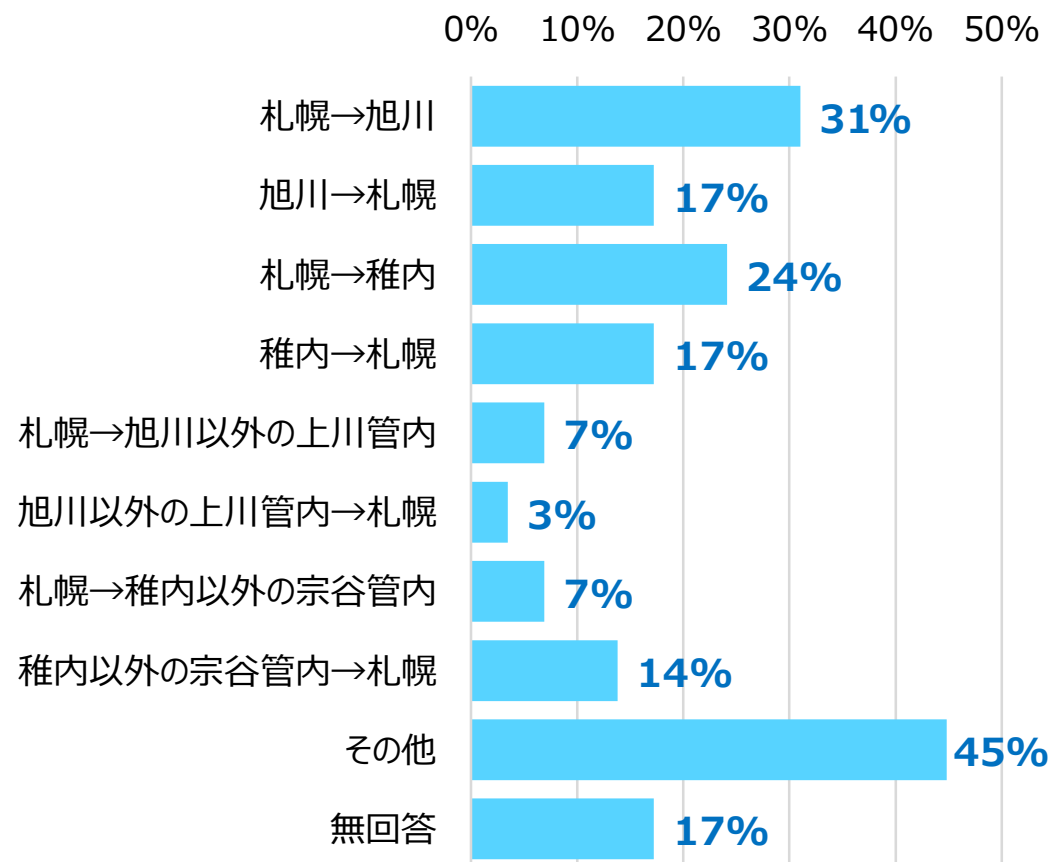
# 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

## 【道央ロジスクの成果について】

### 「ロジスク」を通じて実現しそうな取組みは？



### ロジスクで話した輸送エリアは？

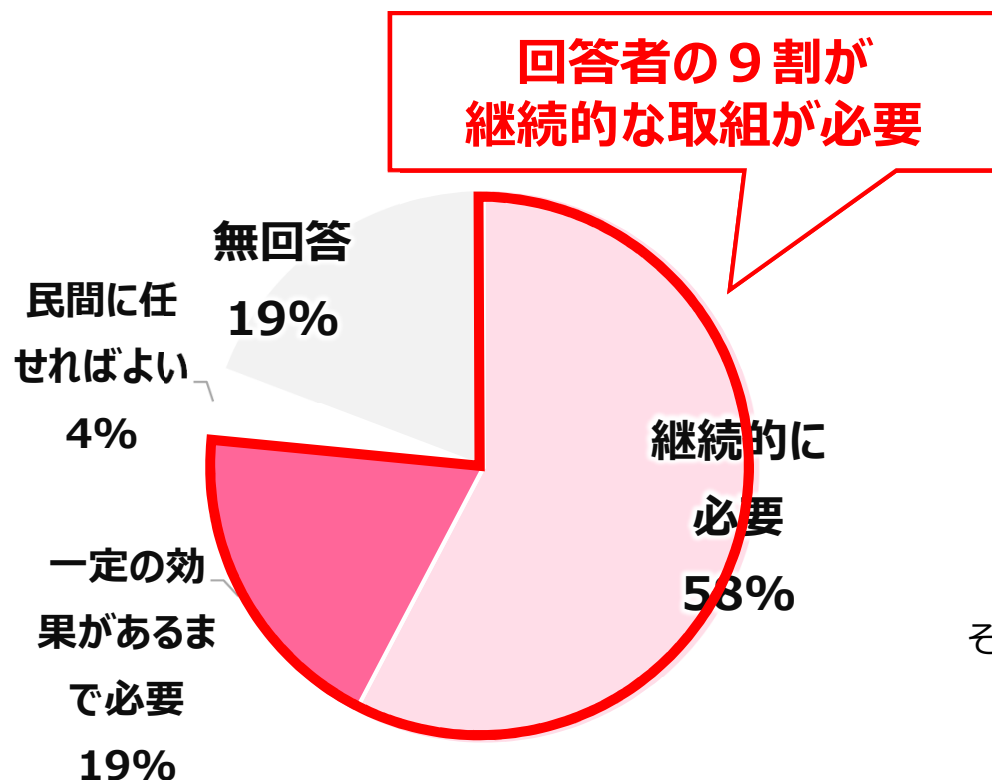




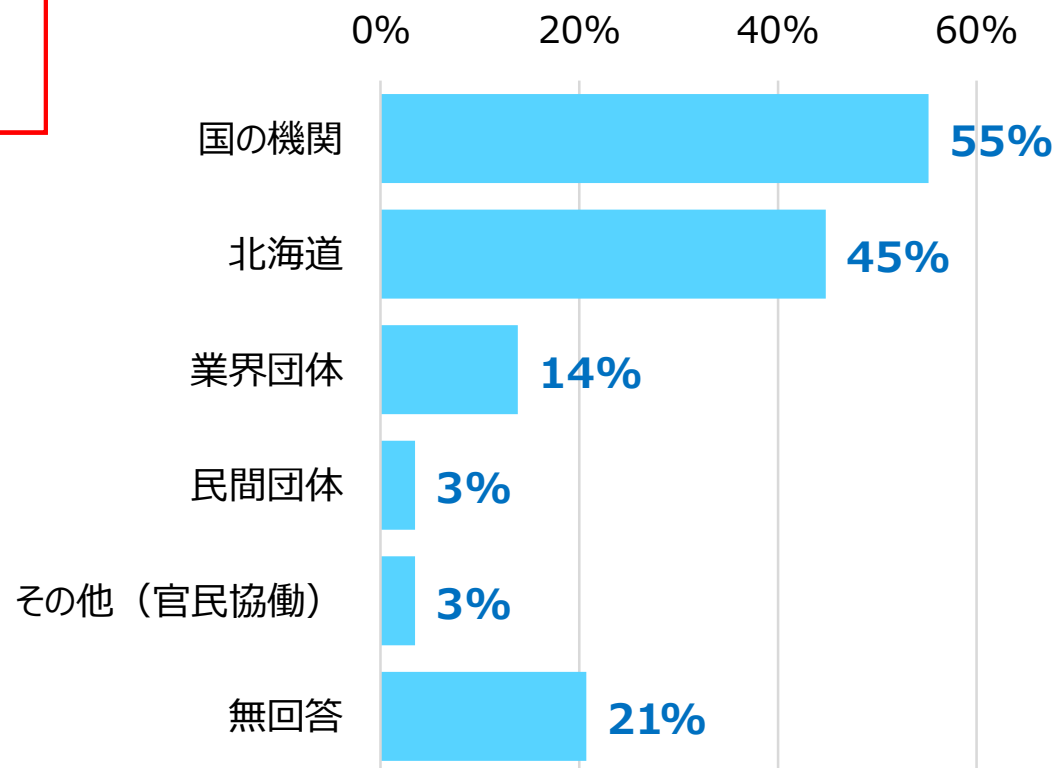
## 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

### 【 よりよいマッチングのあり方について 】

#### 取組みの継続の必要性は？



#### 主催者にふさわしいのは？

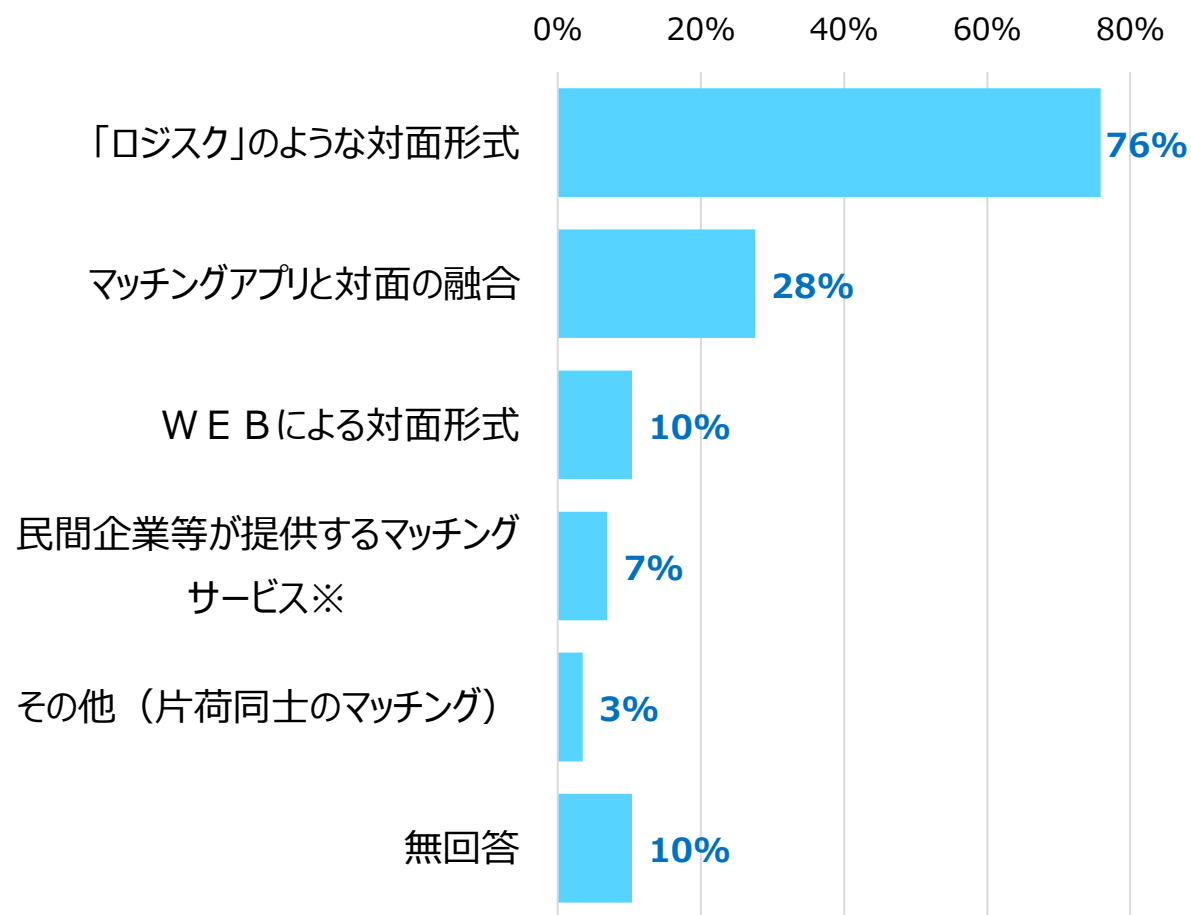
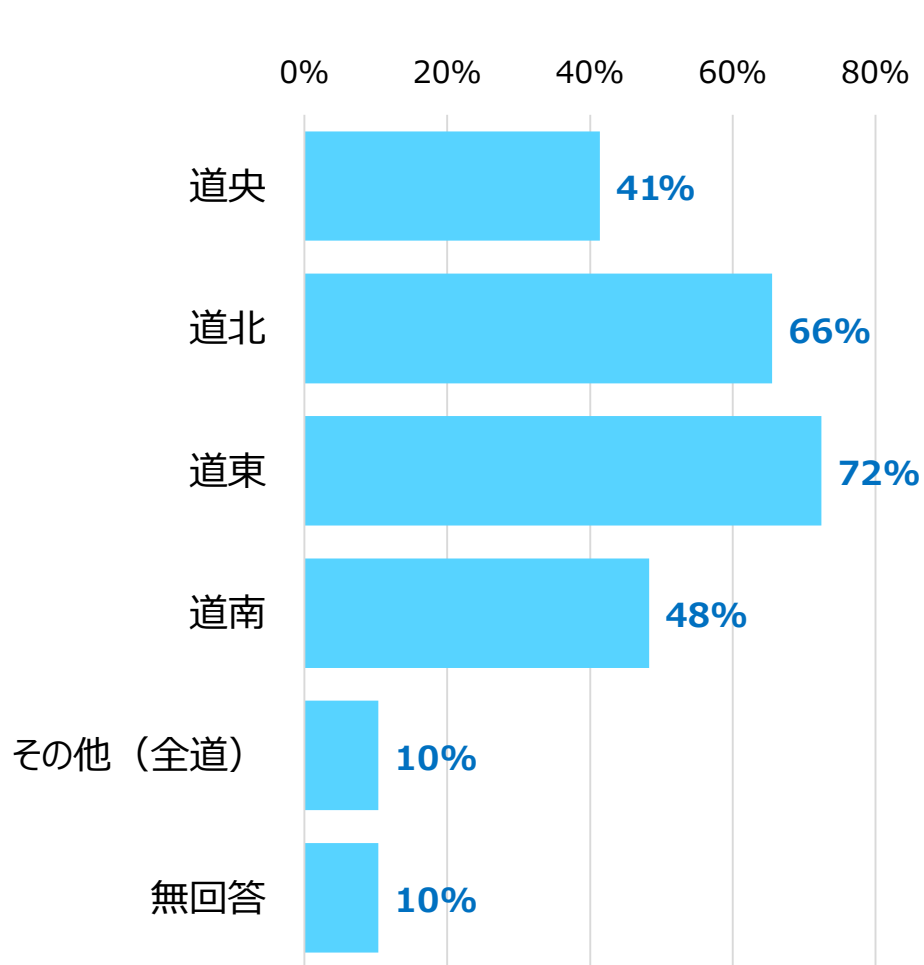


# 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

## 【 よりよいマッチングのあり方について 】

対象エリアは？

マッチングの方法は？

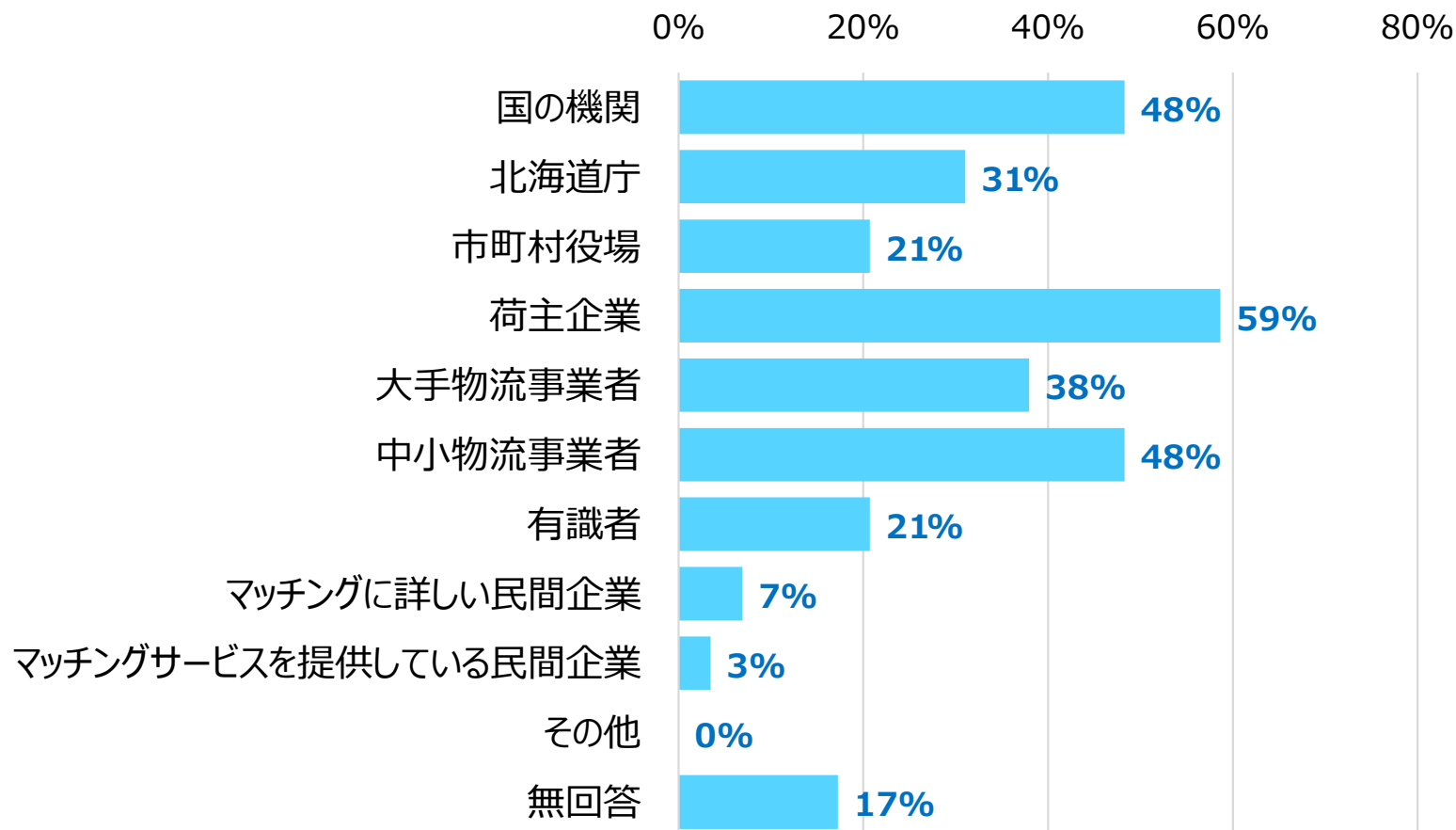


※物流事業者同士のマッチング支援をPC上で行うサービス

## 5. 「ロジスク」ワークショップの実施結果 (事後アンケート調査結果)

### 【 よりよいマッチングのあり方について 】

共同輸送・中継輸送の成立をスムーズに行うために必要な参加者は？



## 6. 「ロジスク」ワークショップ後の状況 (個別ヒアリング調査結果 等)

### ① B社「片荷輸送の解消」 × 幸楽輸送(株)「事業拡大」

#### 【 B社 】

- ・新聞配達後のトラックが空車に

#### 【 幸楽輸送(株) 】

- ・「やさいバス」の配送エリア拡大を模索中

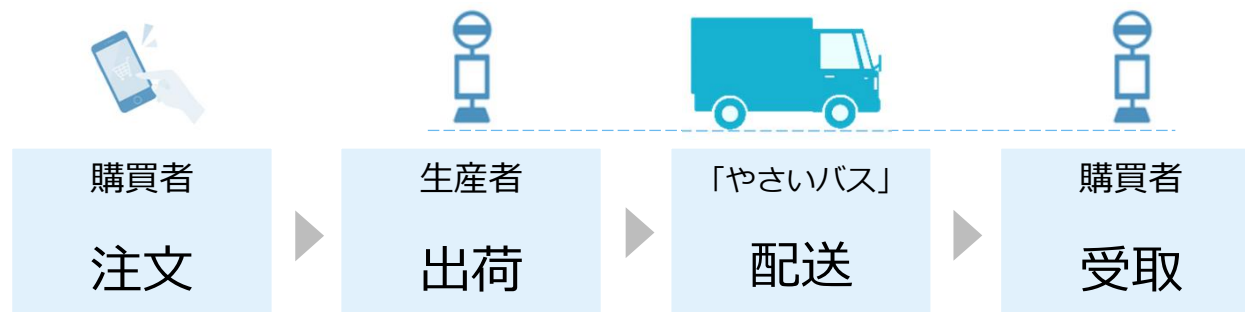
「ロジスク」をきっかけに、  
「やさいバス」の配送におけるマッチングを検討中

- ・新聞配達の帰り荷として、  
「やさいバス」の荷物を輸送できる可能性

- ・自社の配送ルート外のエリアを協力  
してもらえる可能性

#### ■ やさいバスとは

売り手（生産者）が、指定されたバス停に農産物を持ち込み、  
買い手（小売業者・飲食店など）が  
待つバス停まで届ける仕組み



# 6. 「ロジスク」ワークショップ後の状況 (個別ヒアリング調査結果 等)

## ② 日本貨物鉄道(株) × 苫小牧埠頭(株) 「2024年問題に対応するための輸送効率化」



※日本貨物鉄道(株)さまより提供いただいた資料をもとに作成

## 6. 「ロジスク」ワークショップ後の状況 (個別ヒアリング調査結果 等)

### ③ 日本貨物鉄道(株) × A社 「モーダルシフト実現の可能性」

#### 【日本貨物鉄道(株)】

- ・ 貨物列車の片荷輸送が課題

#### 【A社】

- ・ 2024年問題への対応のため、輸送方法の検討が必要

### 「ロジスク」をきっかけとして、個別に打合せを実施

- 札幌⇒道内各方面へ定期運行する貨物列車の運行ダイヤを共有
- 12ftコンテナの貸切利用が可能
- 帰り荷は、日本貨物鉄道(株) が手配した荷物を輸送可能



札幌貨物ターミナル駅から貨物列車で道内各駅へ輸送



- ・ 片荷輸送の解消の可能性

- ・ モーダルシフトも選択肢の一つに